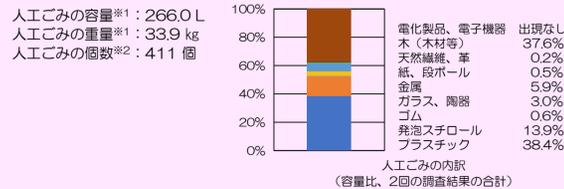


各海岸の状況



① 和間海岸 (宇佐市)

周防灘に面する砂浜で、干潮時には干潟がみられます。人工ごみの全容量のうち、プラスチック類の占める割合が他の調査地点と比較してそれほど高くなく、木(木材等)の割合が比較的多く占めていました。



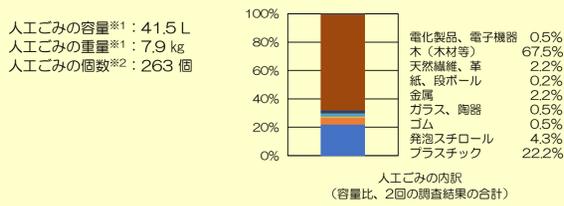
② 松津漁港海岸 (豊後高田市)

周防灘に面する磯浜で、周囲では岩盤が露出しています。調査を行った7地点の中で、2番目に人工ごみが最も多い海岸です。人工ごみの全容量のうち、プラスチック類の占める割合が高く、漁網やロープ等の漁業由来と推測される人工ごみが、比較的多くみられました。



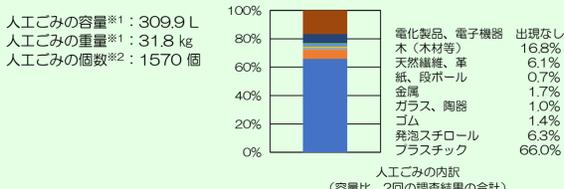
③ 国東海岸 (小原地区) (国東市)

伊予灘に面しており、長い砂浜がみられます。調査を行った7地点の中で、人工ごみが最も少ない海岸です。人工ごみの全容量のうち、プラスチック類の占める割合が他の調査地点と比較してそれほど高くなく、木(木材等)の割合が多く占めていました。



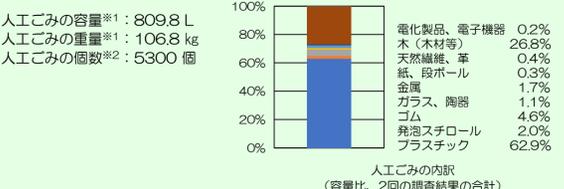
④ 守江港海岸 (納屋地区) (杵築市)

別府湾に面しており、長い砂浜がみられます。調査を行った7地点の中で、自然ごみが最も多い海岸です。人工ごみの全容量のうち、プラスチック類の占める割合が高く、食品包装袋等の家庭由来と推測される人工ごみが、比較的多くみられました。



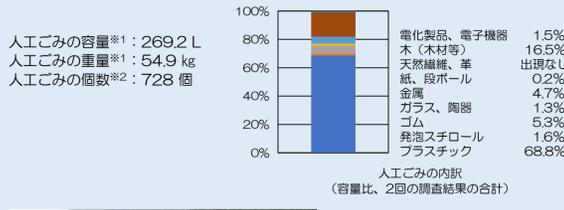
⑤ 志生木漁港海岸 (大分市)

別府湾に面しており、長い砂浜がみられます。調査を行った7地点の中で、人工ごみが最も多い海岸です。人工ごみの全容量のうち、プラスチック類の占める割合が高く、カキ養殖用のまめ管やパイプが、比較的多くみられました。



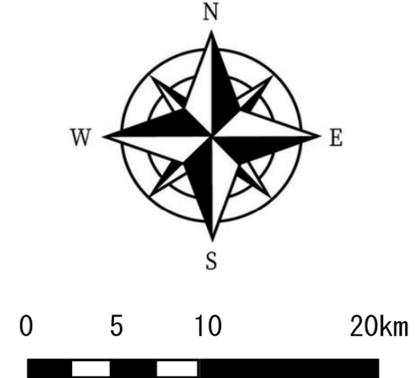
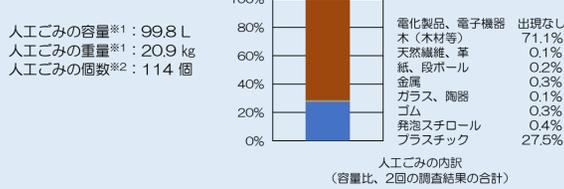
⑥ 下梶海水浴場 (佐伯市)

豊後水道に面しており、長い磯浜がみられます。海水浴場として利用され、キャンプ場に隣接しています。人工ごみの全容量のうち、プラスチック類の占める割合が高く、ロープやルアー等の釣りに具が比較的多くみられました。



⑦ 元猿漁港海岸 (元猿地区) (佐伯市)

日向灘に面しており、長い砂浜がみられます。調査を行った7地点の中で、人工ごみが2番目に少ない海岸です。海水浴場として利用されており、地域の皆さんによる清掃活動が定期的に行われています。



注: 調査地点は、これまでの調査結果を踏まえて開催した検討委員会での意見を踏まえて設定しています。
※1: 50m×海岸の後背地(植生があるところまで)の範囲内、2回の調査の合算値
※2: 50m×海岸の後背地(植生があるところまで)の範囲内、2回の調査の合算値
但し、破片と判断されたものは計数しませんでした。

